

# 元気プラザだより 2月

令和3年 第2号



## 新型コロナウイルス感染症



### ～基礎疾患のある方が重症化しやすい理由～

心疾患・肥満・Ⅱ型糖尿病などの基礎疾患がある人は、年齢にかかわらず重症化するリスクが高くなるといわれています。

他にもCKD（慢性腎臓病）やCOPD（慢性閉鎖性肺疾患）など、生活習慣病が重症化の要因になることがわかってきました。また、これらの病気が複数重なるとリスクはさらに高まります。



### 肥満(BMI値 30以上)

(入院リスク 2.1倍 / 死亡リスク 1.5倍)

肥満は高血圧、糖尿病などさまざまな病気の引き金となり、感染症への抵抗力を低下させます。感染すると、蓄積された内臓脂肪から大量のサイトカイン\*が放出され、制御不能となり、健康な細胞を攻撃することが重症化する原因ではないかと考えられています。

※サイトカイン⇒主に白血球などの免疫系細胞から分泌され、免疫反応の増強、制御などを担う。



### COPD(慢性閉鎖性肺疾患)

(重症化リスク 5.7倍)

COPDは主にタバコが原因で起こり、肺や気管支が炎症をおこし、息切れ・せき・たんがでる肺の病気です。新型コロナは肺胞に炎症をおこす肺炎が起こりやすいため、肺胞の破壊が進んでいるCOPDの人は、酸素不足になりやすく、重症化のリスクが高いのです。



### 心疾患(心不全・冠動脈疾患・心筋症など)

(重症化リスク 3.4倍)

心臓と肺は密接に関係しており、新型コロナで肺炎を発症すると、肺の機能が低下し、血中の酸素濃度が低くなり、心臓に大きな負担がかかります。もともと心臓に疾患がある人は、心臓のポンプ機能がさらに弱まり重症化に繋がります。また、回復後も心筋炎など心機能に影響が残る後遺症が見られるという報告もあります。



### Ⅱ型糖尿病

(重症化リスク 2.3倍)

高血糖状態が続くと、白血球の働きが悪くなり、免疫機能の低下から、感染症にかかりやすくなります。また、ウイルスと闘うときに血糖値が上昇すると、慢性的に血管や全身に炎症が生じていることなどが重症化につながる原因として挙げられます。



### CKD(慢性腎臓病)

(入院リスク増加)

新型コロナで肺炎を併発すると、血中の酸素不足や血圧の低下を招きます。腎臓病と血圧は深く関わっており、血圧が低下すると、腎臓の血流が不足し、ろ過されるべき老廃物がうまく排泄できなくなります。そのため、腎機能がさらに低下するといわれています。

参考：米国疾病予防管理センター重症化リスクに関するガイドライン

新型コロナに感染しないことが重要ですが、感染しても重症化しないために、生活習慣病を予防することは、心がけひとつで誰でもできる有効な感染対策の1つです。感染症を予防するためにも、自分の体の状態を把握することは大切です。重症化を未然に防ぎ、健康でいるためにも、1年に一度は特定健診を受診しましょう。

～お問い合わせ先～

古平町役場 保健医療係 TEL 42-2182 (元気プラザ内)